



出荷目のイチゴたち（本渡町広瀬・松原健之さん）

迎春

レンズがとらえた
ふるさと春夏秋冬

佳き年を迎えられましたこと
お祝い申し上げます
本年も幸多き年でありますよう
お祈り申し上げます
平成23年 元旦

JA本渡五和 役職員一同



あさつゆ

2011 No. 219
平成23年1月15日発行

二十歳になりました
本店 共済課 岩元 千春

家族や周りの方々に支えられ、無事に成人式を迎えられ、とても嬉しいです。
これからは、今まで以上に自分の言動に責任を持ち、一つ一つのことを正しく理解する力が必要になってくると思います。たくさんの人から多くのことを吸収し、それを糧として努力していきたいと思っています。
また、周りの方々に感謝することを忘れず、ご指導を受けながら頑張っていきたいと思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。

二十歳になりました
本店 営農課 江上 友貴

僕は、成人を迎え大人になる一つの節目として、これからの自分の言動についてよく考え、責任を持って行動していきたいと思っています。これまでは、家族や学校などいろいろな方に守られて生活をしてきましたが、これからは自由に行動することができるようになった反面、責任も伴います。
今後、自分を取り巻く環境がどのようなものであっても自分を見失わず、支えて下さる多くの方に感謝しながら、一步一步しっかりと地に足をつけて頑張っていこうと思います。今後とも宜しくお願いします。

旅のささやき

知って得する旅行情報
航空券はJA天草旅行センターで

阪九フェリーで行く **小学生限定**
ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅 3日間

- 出発日 平成23年3月30日(水)
- 旅行代金 お一人様 **19,800円**
お申込金 6,000円
(旅行代金に充当します)
- お申し込み締切日 平成23年2月28日(月)

◆募集人員／80名（最少催行人員／35名）
◆食 事／朝食2回・昼食なし・夕食1回
◆添 乗 員／同行し旅程管理業務を行います

保護者の皆様へ
この企画は、団体行動を通じ大いに遊び・学び、春休みの楽しい思い出づくりとしてご提案いたしました。出発から帰着まで、お子様10～15名に1人の割合で指導員がお世話にあたりますのでご安心の上お申し込み願います。

航空券・JR・ホテル・旅館等の手配予約は旅行センターで！
お一人様よりお気軽にご相談ください。

あなたの旅をバックアップ
JA天草旅行センター
TEL(0969)23-2262 FAX23-2263

**JA本渡五和ふれあいの旅
氷川きよしコンサートin 福岡 2日間**

第43回日本有線大賞を受賞した氷川きよし。ホテルは、繁華街「中州」も徒歩圏内！九州最大アウトレットモール「マリノアシティ」でショッピングにもご案内。

- 出発日 平成23年2月22日(火)
- 旅行代金 お一人様 **21,500円** 2名1室利用
- 申込締切日 平成23年2月4日(金)

マリノアシティ

■組合員異動状況 平成22年12月末現在 (単位:人)

項 目	地 区	本渡東	本渡西	本渡南	本渡北	五和西	五和東	合 計
平成22年3月末	正	796	1,201	373	842	734	596	4,542
	准	194	404	832	467	590	294	2,781
平成22年12月末	正	787	1,189	370	837	730	591	4,504
	(前期末比)	-9	-12	-3	-5	-4	-5	-38
	准	197	414	828	495	592	291	2,817
	(前期末比)	3	10	-4	28	2	-3	36

編集後記
新年、明けましておめでとうございます。組合員の皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えたいと心よりお慶び申し上げます。組
昨年寅年は、猛暑や突然の大雪など異常気象に象徴されるように波乱の一年だったように思われます。
今年、卯年。卯の本来の読みは「ぼう」で、草木が伸び出て地面を覆うようになった状態を表すと解釈されており、またこれに動物の名前を当てて「うさぎ」として十二支を浸透させているそうです。卯年は、草木が繁る「繁栄」、うさぎが飛び跳ねる「躍動」の二重の喜ばしい年と言えるかもしれません。私も、厳しい状況に置かれても希望を持って二〇二一年を一生懸命頑張りたいと思います。今年も広報誌「あさつゆ」をどうぞ宜しくお願いいたします。
(タカ)



本渡温泉センター
天草市瀬戸町1-1 ☎0969-24-2181

休日のお知らせ
2月21日(月) 定休日

地域農業の振興と 農協経営の安定を目指して



代表理事組合長

蓮池 肇一

新年あけましておめでとうございます

組合員の皆様には、健やかに佳き年をお迎えのことと存じ心からお喜び申し上げます。昨年中皆様には農協事業全般にわたり、ご理解とご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、国内経済は円高により景気は伸び悩み、消費や設備投資は依然として低調、失業率も高水準が続く先行き不透明な情勢にあります。また昨年は、宮崎県で口蹄疫が拡大し畜産業界のみならず地域経済全体にも大きな打撃を与えました。これに加え、ＴＰＰ問題（関税撤廃を前提とする「環太平洋経済連携協定」）が持ち上がり、国内農業は苦境に立たされております。明るい兆しが見えない中でも我々はより良い農産物を作り続けなければなりません。「食

の安全・安心」の確保のため生産履歴基調記帳運動や残留農薬検査などに全力で取り組み、引き続き消費者に信頼される農産物づくりを目指してまいります。

春先からの異常気象による不作為、生産資材価格の高騰など苦労の多い年でしたが、本渡五和の主力の中晩柑は生産量品質ともに良好で、全国トップクラスの産地の座を守れたものと自負しております。畜産その他の農産物については、価格的に厳しい面もありますが、市場での品質は高く評価されております。食に対する関心が高まる中で、今後更に安全安心な農畜産物の生産に努め、天草ブランドの確立に努力してまいります。

購買店を集約した営農物流センターでは、訪問活動の充実強

化を図り、少しでも安い資材を皆様に提供できるよう役職員一丸となり取り組んでまいります。

地産地消の拠点としてオープンした「とれたて市場」は昨年四月で一周年を迎え、おかげさまで多くの皆様にご利用いただき順調に運営されております。グリーントップと共に多数出品していただきますようお願いいたします。

何が起るか分からない厳しい時代のなか、ＪＡとしましてはできる限り経営の無駄を省き、事業の効率化・合理化に努めなければなりません。渉外体制を早期に確立し、組合員の皆様に満足していただけるＪＡづくりに全力を傾注いたします。

最後になりますが、本年が皆様にとって実り多き年となりますよう祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



本年もよろしくお願いいたします

組合長	蓮池 肇一
常務理事	山川 國夫
〃	松本 明博
理事	橋口 幸一
〃	梅本 秀幸
〃	中田昭二三
〃	久保 源三
〃	立川 慎一
〃	前田 利男
〃	井上 方人
〃	岩崎 俊二
〃	馬場 照昭
〃	稲田 定利
〃	岡田 敏秋
〃	園田ヤスエ
常勤監事	松本カヅエ
監事	田中 末喜
〃	山下 義久
〃	松下 勝行
〃	井上 幸雄

新年明けまして おめでとうございます



年金友の会長 倉田 健一 会員の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと存じます。日頃より年金友の会の活動につきましては、ご協力・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ＪＡ本渡五和年金友の会は会員相互の親睦と融和を図り、健康増進・生きがいのある生活の確立に資する目的をもって本渡五和農協発足と同時に誕生し、現在十四支部・会員千九百九十八名とＪＡ内でも最大の組織となりました。これは会員の皆様はもちろん先輩各位のたまぬご尽力の賜物だと衷心より深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、景気や農産物価格の低迷と農業資材の価格高止まり等影響があり、農業収益の減少が続いております。また、昨年の漢字にもなりました「暑」という字が表しているように、記録的な猛暑により、農産物では生産量の低下による野菜の高騰、稲の乳白米の増による品質の低下等が発生し私たち年金受給者も多大な影響を受けた年でありました。このような状況の中でも年金友の会は、支部を中心に会の目的に沿った行事を計画し活動してまいりました。特にグラウンドゴルフにおいては支部大会・本部大会さらに天草地区大会を勝ち抜かれた方が出場する熊本県大会に



果樹協議会会長 福田 賢二

旧年中は皆様方には大変お世話になりました。本年も宜しくお願い申し上げます。昨年は春先まで比較的暖かな気候であったのですが、三月下旬に寒波にみまわれ落葉果樹に大きな被害が出ました。中でも梨の新高は満開期にあたり、晩霜で落花し生産量は激

減してしまいました。枇杷や他の落葉果樹も生産量は前年割れで推移し夏果実から単価高が続いてきています。みかんも裏年にあたり、数量減の単価高の状況が新早生から早生温州、普通温州、中晩柑と流れてきています。このままいくと温州みかんの生産量は八〇万トンを割り込むのではないかと考えられます。

二十二年産の柑橘は久しぶりの高単価で推移していますが、生産量が少なく販売金額は伸びない予想です。基本管理を徹底し、隔年結果の幅を小さくしないと果樹経営の安定はありませぬ。毎月の例会等で栽培技術の向上を図り、組織の総力を挙げて販売力を強化し果樹経営の安定を図っていきたいと思っています。

天草の温暖な気候を生かして発展してきた果樹産業ではありますが、時代の流れの中で様々な問題が起きてきています。その最も大きな問題は生産者の高齢化であります。若い後継者のいる経営体は全体の中で少数派であり、平均年齢が六十歳以上の高齢者が経営主体であります。新しい年が来ると、また一つ経営者は歳を重ねていくのです。これから先の将来の果樹産業が発展していくには、次代を担う若き新しい才能が必要不可欠で、次々と登場してお互いが切磋琢磨しながら新時代の扉を開いて行つてほしいと思っています。果樹には、現在の生食やジュースなど以外にも多くの可能性があり、その機能性、多様性がこれからの果樹産業の大きな可能性になると確信しています。若い人達には様々な事に挑戦し自分自身を高めて人と



青壮年部部长 吉田 新一

昨年は、戸別所得補償が始まり、景気低迷が続く中での消費の減少や前年度産の在庫の影響により米価の大幅な下落が問題となりました。宮崎県で発生した口蹄疫により、消毒等の対策やセリの延期等、対応に苦慮することとなりました。また、政府のＴＰＰ（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加検討という、国内農業を壊滅させる様な問題が突如浮上しました。このような中、青壮年部活動におきましては、多くの盟友の皆様にご

参加いただき、誠にありがとうございます。一昨年の青年大会「盟友の主張」発表において、九州地区代表として本町支部の倉田政幸さんが全国青年大会へ出場され、最優秀賞は惜しくも逃しましたが、全国大会という大舞台の壇上で当ＪＡ青壮年部の代表としても素晴らしい発表をしていただきました。各支部盟友の皆様には応援とご支援賜りありがとうございます。その他、口蹄疫の関係で基本農政確立研修会は中止になりましたが、支部研修会の開催やアグリフェスタへの味自慢コーナー出店など、皆様のご協力に感謝申し上げます。支部研修会では、下浦支部盟友の皆様にはお世話になり、特産のボンカン・デコボンを主体とした果樹や下浦営農組合、緑竹の栽培等、下浦支部の特産や管内農業の方向性が垣間見られ、支部間の交流も含め大変有意義な研修となりました。

政府が検討しているＴＰＰへの参加は、私達にとって到底容認することとはできない問題です。農業に壊滅的な影響を与え、地方の衰退は免れません。更には、ＪＡの金融・共済・営農の分離検討など、国内農業や地方をあまりにも理解していない政府の方針に憤りを感じさせられます。ＴＰＰへの参加は関税の撤廃以外にも、農業以外の産業への多大な影響もあり、国の仕組みが一変する可能性があるとされます。今後は、他産業との連携はもとより消費者をはじめとする社会全体の国内農業理解を更に進めていかなければなりません。このような農政の問題や青壮年部活動の情報源として「農業新

聞」や「地上」等、ぜひご活用していただければと思います。様々な問題や景気の低迷が続く中、農産物のグローバル化も更に加速して行く可能性も否めません。より厳しい情勢となっておりませんが、日本農業が生き残って行くために、我々青壮年部が地域リーダーとして知恵を出し合い行動していきましょう。



女性部部長
松本カヅエ
部員、組合員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、記録的な猛暑により、農業を取り巻く情勢は大変厳しい年でした。宮崎で発生した家畜伝染病口蹄疫は、家畜農家は過去にない大きな被害となりました。年末になって鳥インフルエンザや韓国での口蹄疫が拡大の兆しを見せていますが、早い終息を願っています。

女性部では、JA運営への女性の参画を促進するため、「JA熊本県大会」で決議された、正組合員に占める女性の比率二五％の数値目標に向け推進を行いました。総代比率一〇％については、今まで培ってきた慣習や意識の違い等でなかなか厳しいものがあります。女性総代の拡大、組合員加入促進など女性部とJ

Aが一体となっており、組合員が痛感しております。

目的別グループ活動が発足して一年余り、昨年の総会の折には部員の方の協力で多くの作品を展示することができました。また部員数も少しずつですが増えてきており、部員の親睦や地区での活動が活発に行われています。また、女性部リーダー学習会で染物体験を行ったところ、各地区にも広がり世界に一枚、自分だけのハンカチ、ストールと喜ばれています。染物の講師による日本の伝統である「着物の収納や手入れ法」の講習では、間違った収納や手入れをされており大変いい研修だったと満足していただきました。

部員の親睦を図る目的で三JA合同ふれあいの旅を行っていましたが、昨年は独自で行いました。片岡劇場で笑いあり、涙ありの芝居など日頃の忙しさを忘れ、楽しい一日を過ごすことができました。私も行きたくったとの声も多く、今年も計画をしたいと思います。女性が元気な家は明るいといわれます。目的別グループ活動やふれあいの旅など、女性部に入って楽しかった、また参加しよう、勉強になったと言われるように元気で生きがいを見つけられるような活動を計画したいと思います。

最後になりましたが部員、組合員皆様のご活躍とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。



和牛部会会長
山田 利雪
和牛部会の活動につきましては、関係各位の

ご理解ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

昨年は、何といっても宮崎県で十年ぶりに国内での口蹄疫発生が確認されたことです。ゴールデンウィーク中に発生件数は急増し最終的には発生農場二百九十二農場にのぼり殺処分された家畜は二十九万頭に達しました。天草地域においても畜舎の消毒、防疫に畜産農家全員が懸命の努力を行い、熊本県内での発生をくい止めた結果、宮崎県で八月二十七日に終息宣言が出され、終息いたしました。

口蹄疫は、畜産農家だけでなく地域の経済、産業、生活、人にも影響を与えることが宮崎県を見てわかりました。この間、我々畜産農家に對し県、天草市、JA本渡五和からの各対策支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。二度と、このようなことがないよう日々の衛生管理に努めたいと思います。

十一月の天草市場も子牛価格が平年の相場に落ち着いてきたと思うところ。隣の国、韓国での口蹄疫発生や飼料相場の高騰、景気の回復動向などにより価格への影響が出てくるかもしれません。

JA本渡五和管内の畜産農家に対してお願いがあります。畜産経営への意欲、飼育管理の徹底、技術の向上を図り天草地域での確固たる地位を築き天草黒毛の発展を願います。また、粗飼料の確保で自給率の向上を図り、自分で工夫努力し経営改善に取り組んでいかなければならないと思います。

最後になりましたが畜産農家の皆

様方のご発展とご健勝を御祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。



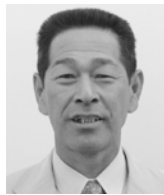
稲作部会会長
鬼塚 茂昭
日頃、稲作部の活動につきま

は、多大なるご尽力とご支援をいただいておりますことに心からお礼申し上げます。

昨年のお稲作は四月の田植え期に平年に比べ気温が低く推移し、このため活着の遅れや初期生育が停滞致しました。梅雨に入り雨の日が多く一週間程度の遅れとなり分げつ本数穂数の減少につながり天草地区作況指数は「九〇」と不作の年になりました。

一方、コメをめぐる情勢は、政策転換にもかかわらず消費量の減退や在庫量の増加で課題を抱えたまま推移しております。民主党政権の中で、全国一律に米の戸別所得補償制度の導入、水田利活用自給率向上事業など、本年は新しい政策での取り組みとなりました地域水田ビジョンを定め新しい農政の中で所得の確保が重要となります。今回農政の見直しを受けて部会としても十五年目に入り、JA本渡五和ライス戦略に基づきコスト低減に努力し、安心、安全で売れるうまい米作りを目指して、関係機関と連携を取りながらこの難局を乗り越える覚悟です。

最後に、お互いの英知と共同の力を結集して、稲作を中心とした複合経営がより一層発展しますよう祈念申し上げ年頭のご挨拶いたします。



園芸部会会長
金子 久幸
日頃より、部員の方には格別のお引き立

てをいただき衷心より感謝申し上げます。昨年を振り返ってみますと、農業所得や農業算出額は低下傾向にある中で二月以降の全国的な日照不足により四月には野菜の価格が高騰、一時落ち着いたものの、夏には記録的猛暑や早魃により、夏秋野菜への直接的な影響だけでなく、秋冬野菜の初期生育などにも影響を及ぼし、出荷量減少に伴う価格高騰が長期にわたりました。冬野菜においては反動で下落し農業経営にとって厳しい状況が続いております。また、国においては「戸別所得補償制度」が始まるなど、新たな転換が図られています。更に、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への参加がクローズアップされ、農業問題に対する社会的関心が高まっています。園芸部会では、安全・安心な農産物を消費者・実需者に連日提供できるよう、部会員一丸となって、トレイサビリティ・残留農薬検査を全品目行い、より信頼される産地育成に努めております。ひいては、市場・バイヤーとの連携により契約販売を実践し、部会員の所得向上にもつなげております。

最後になりましたが、部会員皆様方を始め関係各位の皆様にとって希望に満ちた明るい年であることを祈念申し上げ、年頭の挨拶いたします。

地産地消漬物講習会と

花の寄せ植え研修会

本渡五和女性大学

本渡五和女性大学は、十二月八日(水)、JA本渡五和本店においてJA本渡五和受講生七十五名が参加し、JAあまくさと合同で漬物講習会と花の寄せ植え研修会を行いました。

厚生産業の日野さんと熊本中央会営農生活センターの熊見さんに、エコープマーク商品で簡単に漬けられる漬物講習会を行っていただきました。塩の分量を間違わないように空気をしっかりと抜いて、すき間ができないように並べるなど、漬物を上手につけるコツについて、楽し



花の寄せ植え作業のようす

ふるさと便全国へ発送

本渡百姓倶楽部

本渡百姓倶楽部では、ふるさと便12月セット物を12月17日(金)、全国へ向け発送しました。今回は、セット物柑橘類の単品等詰め合わせて52ケースのご注文をいただきました。

セット内容は、普通期新米・温州みかん・からいも・こっば餅・高菜漬け・レタス・スウィートスプリングなどを入れ、10kg段ボールいっぱい詰めています。次回セット物の発送は4月発送の予定です。内容は、デコボン・パール柑・天草晩柑・清見・筍・こっば餅・高菜漬・その他野菜の予定になります。故郷の懐かしい味で遠く離れたふるさとを思いつづる暖かさを感じる品物と大変うれしい言葉をいただいております。

詳しいお問い合わせ・ご注文などは、山口支所 ☎22-3286 まで宜しく願います。



戸別所得補償モデル事業に関する税務上の取扱いについて

米戸別所得補償モデル事業に関する税務上の取扱い

(所得税：交付決定通知を受けた年で収入計上<農業所得の雑収入>消費税：不課税)

①定額部分(15,000円/10a)については、ほとんどの地域で年内に交付を受ける予定でありますから、**交付決定通知の時期にあわせて、22年分で収入の計上を行います(所得税：農業所得の雑収入)。**

なお、交付決定通知日が23年になった場合は、23年分で計上します。

②変動部分については、23年1月までの相対取引価格で交付単価を決定し、3月中旬に交付を受ける予定でありますから、**交付決定通知の時期にあわ**

せて、23年分で収入の計上を行います(所得税：農業所得の雑収入)。

③水田利活用自給力向上事業については、従来の産地確立交付金の支払い時期を念頭に置き、早い地域では年内から、遅い地域でも翌年3月中旬に交付を受ける予定でありますから、**交付決定通知の時期にあわせて、年内に交付通知された場合は22年分で収入の計上を行います。また、交付決定通知日が23年になった場合は、23年分で計上します(所得税：農業所得の雑収入)。**

